化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版H

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 3 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 2 g と結びつく酸素は何 g か。

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 16.5 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(4) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 4.5 g と結びつく酸素は何 g か。

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 1.2 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 14.7 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 14.1 g と結びつく酸素は何 g か。

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 16 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 6.9 g と結びつく酸素は何 g か。

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 17.4 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Hの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 3 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
＝ 5 g

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 2 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 0.5 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 16.5 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
＝ 27.5 g

(4) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 4.5 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 3 g

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 1.2 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝ 1.5 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 14.7 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
＝ 24.5 g

(7) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 14.1 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 9.4 g

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 16 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝ 20 g

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 6.9 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 4.6 g

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 17.4 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 11.6 g